

一般質問発言通告書

議席番号 18番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、市民参加の市政運営について

- ①「市民の皆さんとの対話」とあるが、具体的な時期、対象はどのような地域団体なのか、対話の態様など具体的にどのように考えているのか。
- ②地方自治の主体者は市民であることから、市民との対話は重要であり、対話をより充実する意味からも、地域から意見や要望などを出していただく仕組みをつくり、市民との対話を実りあるものにする考えはないか。

2、石見神楽などによる浜田市の顔づくりについて

- ①石見神楽の振興は保存と伝承に加え、浜田市の顔づくりとしての発信が必要であり、拠点施設整備が一番待たれているが市長の考えはどうか。
- ②そのためにも石見神楽に加え、海と水産業、食、温泉などと結びつけ、市の観光主管課、観光協会、県観光連盟、DMO観光地域づくり法人など、改めて、これらの再編や連携の強化など観光推進の顔づくり、その体制を整える必要があるのではないか。

3、浜田市のにぎわいと元気づくりについて

- ①これまで指摘したとおり、身の回り品小売業、飲食料品小売業などの売り上げが下がり、事業者も減少しており、市民はこれらを求め購買力が市外流出しているが、改めて市長としてこれらの現状をどう認識しているのか。
- ②にぎわいと元気づくりを商工業と観光の面からとらえると、施政方針では、人材の確保、事業承継、新商品開発と販路拡大、食の魅力化などとあるが、これらについて、市長として精神論ではなく具体的にどのような施策を打ち出す考えか。

4、地域福祉の推進について

- ①社会福祉協議会では、課題として「活動の浸透度の低さ」と掲げられているが、社会教育、生涯学習を担当する「まちづくり社会課」としたように、地域福祉を地域で展開する部門、地区社会福祉協議会などが一体となった、協働のまちづくりに地域福祉を取り込んだ体制をつくる必要があるのではないか。
- ②地域に密着した福祉サービスが重要であり、ショッピングリハビリが県内でも広がっており、この介護サービスを実施する考えはないか。

5、ハラスメント対策の取組について

- ①人権を尊重するまちづくり条例、人権教育・啓発推進基本計画などによると、お互いの生き方や考え方を認め合い、人権が尊重される社会を実現するとされているが、改めてカスハラなどをなくすことを強く打ち出し、啓発事業を強化する考えはないか。
- ②カスタマーハラスメント対策も含め、ハラスメントの相談窓口の明確化、窓口の整備と充実をするなどの考えはないか。

6、国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の態勢について

- ①令和12年の大会に向け、競技場の整備、競技団体の育成や運営体制など、具体的な方針、年度計画などどのように進めるのか。
- ②かつてのくにびき国体では、花いっぱい運動など市民への理解を深める、協力を求める取組があったが、この大会について市全体に向け、市民に届くように具体的にどのように取り組むのか。

7、コミュニティスクールなど学校運営の状況について

- ①コミュニティスクールを実施してその評価が注目されるが、それは運営委員会の報告を待つとして、令和6年度から試行された取組も含め、教育委員会としてどのように評価しているのか。
- ②部活の地域移行は全体に対して、部活の種目、学校別、地域などどのように進んでいるのか。